

Cisco Firepowerシステムでのパスルールの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[パスルールの作成](#)

[パスルールの有効化](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、パスルール、その作成方法、および侵入ポリシーでそれを有効にする方法について説明します。

パスルールを作成すると、パスルールで定義された基準を満たすパケットが、アラートルールを無効にするのではなく、特定の状況でアラートルールをトリガーするのを防ぐことができます。デフォルトでは、パスルールはアラートルールを上書きします。Firepowerシステムは、パケットを各ルールで指定された条件と比較し、パケットデータがルールで指定されたすべての条件と一致する場合、ルールがトリガーされます。ルールがアラートルールの場合、侵入イベントが生成されます。パスルールの場合、トラフィックは無視されます。

たとえば、ユーザ「anonymous」としてFTPサーバにログインする試行を検索するルールをアクティブのままにしたい場合があります。ただし、ネットワークに1つ以上の正規の匿名FTPサーバがある場合は、特定のサーバに対して匿名ユーザが元のルールをトリガーしないことを指定するパスルールを作成してアクティブにすることができます。

注意：パスルールの基になっている元のルールがリビジョンを受信しても、パスルールは自動的に更新されません。したがって、パスルールの維持が困難になる可能性があります。

注：ルールの抑制機能を有効にすると、そのルールのイベント通知が抑制されます。ただし、ルールは引き続き評価されます。たとえば、ドロップルールを押すと、ルールに一致するパケットはサイレントにドロップされます。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

パスルールの作成

1. **Objects > Intrusion Rules にすすんでください。** ルールカテゴリのリストが表示されます。
2. フィルタするルールに関連付けられているルールカテゴリを検索します。矢印アイコンを使用して、カテゴリリストからルールカテゴリを展開し、パスルールを作成するルールを検索します。または、ルール検索ボックスを使用することもできます。
3. 目的のルールが見つかったら、その横にある鉛筆アイコンをクリックしてルールを編集します。
4. ルールを編集する場合は、次の手順を実行します。ルールに適した **Edit ボタン** をクリックしてください。Action ドロップダウン リストより、**pass** を選択してください。[Source IPs]フィールドと[Destination IPs]フィールドを、ルールを警告しないホストまたはネットワークに変更します。 **Save As New** をクリックしてください。

Edit Rule 3:13921:5


([View Documentation](#), [Rule Comment](#))

Message	IMAP Altrium Software MERCUR IMAPD NTLMSSP command handling me		
Classification	Attempted Administrator Privilege Gain ▼ Edit Classifications		
Action	pass ▼		
Protocol	tcp ▼		
Direction	Directional ▼		
Source IPs	any	Source Port	any
Destination IPs	\$HOME_NET	Destination Port	143

Detection Options

reference		
<input type="text" value="url,secunia.com/advisories/24596"/>		
reference		
<input type="text" value="bugtraq,23058"/>		
reference		
<input type="text" value="cve,2007-1578"/>		
metadata		
<input type="text" value="engine shared, soid 3 13921, service imap"/>		
ack ▼	<input type="button" value="Add Option"/>	<input type="button" value="Save As New"/>

5. 新しいルールのID番号をメモします。たとえば 1000000 と入力します。

 **Success** ✕

Successfully created new rule "IMAP Altrium Software MERCUR IMAPD NTLMSSP command handling memory corruption attempt"

Edit Rule 3:1000000:1 [\(View Documentation, Rule Comment\)](#)

Message:

Classification: ▼
[Edit Classifications](#)

Action: ▼

Protocol: ▼

Direction: ▼

Source IPs: Source Port:

Destination IPs: Destination Port:

Detection Options

reference

reference

reference

metadata

▼

パスルールの有効化

指定した送信元または宛先アドレスでトラフィックを渡すには、適切な侵入ポリシーで新しいルールを有効にする必要があります。パスルールを有効にするには、次の手順を実行します。

1. アクティブな侵入ポリシーを変更します。 [Policies] > [Access Control] > [Intrusion] の順に選択します。 **Edit** をクリックして有効な不正侵入ポリシーの隣にある **Edit** をクリックしてください。
2. 新しいルールをルールリストに追加します。 **左側にある Rules** をクリックしてください。前にメモしたルールIDをフィルタボックスに入力します。 **Rules** チェックボックスを確認し

- て、Rule State を Generate Events に変更してください。左側にある Policy Information をクリックしてください。Commit Changes をクリックしてください。
3. デバイスに変更を反映させるために、Deploy をクリックしてください。

確認

定義された送信元または宛先IPアドレスに関するこの特定のルールに関するイベントが生成されないように、新しいイベントをしばらく監視する必要があります。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。